

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の言ったことやしたことについて読み取ること。</li> <li>経験したことや感じたこと、考えたことを文章にして表すこと。</li> <li>正しくていねいに文字を書いたり、読んだりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面ごとに登場人物がしたことを実際にやってみたり、挿絵を活用したり、文字の習得段階に合わせてオリジナルテキストを活用したりする。</li> <li>登場人物を○で囲ったり、したことや言ったことにサイドラインを引かせたりして、文字や文章により触れ、注目できるような機会を設定する。</li> <li>書く順番など、基本的な書き方を掲示しておき、それに沿って書けるようにしておく。個別にやりとりをしたり、写真などを見せたりすることで、内容がふくらむようにする。</li> <li>個別の文字の習得段階に応じて、枠の大きさに考慮する。</li> <li>とめやはねまで気を付けて書けるよう、大事なところを色で示しながら、取り組ませる。</li> </ul>
生活単元	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科に関連した学習では、実験方法や観察方法などを理解し、分かったこと、気付いたことを文や絵等で表現すること。</li> <li>社会に関する学習では、自分で興味があることや調べたいことを見つけたり、考えたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、写真や動画なども活用する。</li> <li>見たこと、分かったことについては、具体的に表現できるよう教師とのやりとりも行っていく。</li> <li>資料については、個別に応じて拡大したり、より分かるように教師が補足説明したりする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>10の合成、分解を理解すること。</li> <li>10の合成、分解を活用して、くりあがりやくりさがりの計算の仕方を理解すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の学習の段階に応じて、具体物の操作を十分に行わせる。10の合成、分解に毎日取り組ませ、覚えられるようにする。</li> <li>10のまとまりを意識して、○で囲ったり、固めて具体物を置いたりする。</li> <li>計算の仕方、手順を掲示し、それに沿って計算する。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の仕方やルールを理解して、楽しみながら運動技能を高めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元ごと、運動の仕方やルールを事前に伝えたり、見本を見せたりしながら理解できるようにする。</li> <li>各単元ごと、技能の実態把握をし、必要に応じて個別の場を設けて練習をする。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちを調節して、自分の気持ちを周り表現すること。</li> <li>他者への思いやりをもつこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちのコントロールを体感して身に付けていける教材を選ぶ。</li> <li>小集団で一緒に行う活動を意図的に設定し、行動を共にすることで、他者を思いやる経験を積ませていく。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で考えたことを表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマを児童の身近なところから広げられるようにする。</li> <li>自分なりの考えをもてるように声かけする。</li> </ul>
学級経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>何事にも見通しをもって、前向きに取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心して学校生活を送れるようにするために、個にあった支援を工夫していく。</li> <li>自己肯定感が育つよう、できたときには大いにほめていく。</li> </ul>



	成果○ と 課題▼
国語	<p>○オリジナルテキストの文章の中から、登場人物を見つけて○印を付けることができ、場面ごとに、出てくる登場人物を全員が確認することができた。</p> <p>○色分けしたサイドラインを引かせることで、だれがしたことかをくわしく読み取ることにつながった。</p> <p>○文集を書く際には、写真などを活用して、だれと、どんなことをしたのかを詳しく書くことができた。</p> <p>○書字については、正しく書ける文字が増えた。細かい点や曲線、はね、はらい、とめなども意識して文字を書くことができた。</p> <p>▼感じたことや伝えたいことを、伝えられるようになってきているが、より多く引き出したり、より様々な方法で伝えられるようにしていく。</p> <p>▼音読をする時に、言葉のまとまりを意識して読むことが課題である。言葉の意味とつなげて音読させることを心がけていく。</p>
生活単元	<p>○理科に関する学習では、実験などを通して、実験の準備や実験の方法をしっかりと理解して取り組むことができた。</p> <p>○社会に関する学習では、教科書や資料集の写真や言葉に注目しながら、わかったことや大事なことをノートにまとめることができた。また、タブレットを使用し、画像を検索したり、調べたりする方法を身に付けることができた。</p> <p>▼理科においては、実験をする時に、実験をすることのみで学習活動が終わってしまうことが多く見られた。実験の際中や結果をまとめる時に、児童とのやりとりの中から、気付かせていくような工夫が必要である。</p>
算数	<p>○10のまとまりを意識して数を数えることができた。</p> <p>○10のまとまりを意識して、100より大きい数を理解することができた。</p> <p>○文章を読んで、どのように計算すればよいか考え、立式することができた。</p> <p>▼くり上がりやくり下りの計算の手順の理解を定着させる。機械的に計算することができても、意味理解がなかなか定着しないこともあるので、具体的な場面と結び付けていく必要がある。</p>
体育	<p>○授業の始めの練習タイムの時間に、教員と一緒にボールを取り合ったり、パスしたりする練習をすることで、本番のゲームでよりボールに向かい、体を動かすことができた。</p> <p>○意欲的にボールに触れ、練習する姿がたくさん見られた。</p> <p>▼個人競技については、自分のめあてを作り、それに向かって取り組めることが多いが、チームで行うゲーム型の運動では、運動量を確保していくために工夫していく。</p>
道徳	<p>○日常生活における場面を題材にとりあげ、身近に感じられるような工夫をすることで、子どもからの意見がより多く出されるようになった。</p> <p>▼子どもの実態に応じて、取り上げる題材を決め、計画的に行う。また、道徳の時間の中で、子どもの気持ちがり引き出せるような授業を工夫していく。</p>
総合	<p>○オリンピック、パラリンピックについての理解を深めることができた。</p> <p>○自分の将来について考え、自分を振り返ったり、卒業後を想像したりすることができた。</p> <p>▼自分の意見をグループの子どもたちに伝えるために、事前に学習について触れておいたり、事後の振り返りを行ったりしていく。</p>
学級経営	<p>○6年生という意識をもって、委員会活動やクラブ活動に積極的に参加することができた。</p> <p>○初めてのことにも前向きに挑戦することができた。</p> <p>○自分の気持ちを言葉で、伝えることが増えた。</p> <p>▼一人一人が活躍できる場をより多く意図的に設けていく。</p>